

安良居神社の由来

丸子公園の一角に菅田別命（ほんだわけのみこと）を御祭神とする安良居神社が祀られています。創建は不詳であり、木曾義仲にまつわる伝承が伝わりますが、その時代より前からお祀りされていたものと思われます。

木曾義仲が京都男山にある石清水八幡宮より源氏の守護神である八幡大神を勧請し、この地にお祀りしました。「武軍長久・領内安全」を祈願し、横田河原の戦いで勝利を納め、お礼として、寿永元年（1182年）に本殿を再建。その際に笠懸を奉納して、北國（北陸地方）に下向したと伝わります。しかし、後の大火により貴品、記録をことごとく焼失し、現在の本殿が再建されるまでの間の資料はわずかに残る社伝のみです。それによると本殿は江戸末期の弘化3年（1846年）に諏訪の宮大工2代目立川和四郎富昌、富重により本殿と拝殿の改築。更には下丸子村、中丸子村、腰越村、辰之口村、御嶽堂村の5村の人夫の協力を得て、嘉永元年8月に拡張工事が行われました。本殿には、立川流の特色のある浮彫刻、正面の慕股、左右の脇障子の手長、足長、海老虹梁の上り龍、下り龍、向拝柱頭貫鼻の唐獅子、ぼたんなどの多くの彫刻があり、美しく飾られています。

特に脇障子にある手長、足長像は、全国で数少ない名作で、上田市の有形文化財に指定されています。なお、現在の拝殿と祝詞殿は、昭和14年に改築され旧拝殿は資料庫として使用されています。

境内には、明治45年に当時の丸子中央小学校の近くから移築された、諏訪社（リス）蚕影社（馬）の彫刻が施された社殿もあります。安良居神社は、地域の大切な文化財であります。大切に守っていきましょう。

総代長 藤森 盛人

安良居神社
歳時記



春祭り 福銭頒布



春祭り 獅子舞



初詣・二年参り



どんと焼き 写真提供：滝澤 俊氏



(アクセス)
上田駅から車で25分 / 丸子地域自治センターから徒歩5分
(所在地)
長野県上田市上丸子1924のイ(丸子公園内)
(上田文化財マップ)
<http://museum.umic.jp/map/document/dot90.html>

木曾義仲
ゆかりの地

信州上田丸子

安良居神社



問合せ 0268-42-3186(総代長 藤森 盛人)

上田市有形文化財 安良居神社本殿